

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 さきたま会
施設名	薫る風・上原こども園
報告者（役職）	森 文稔（統括責任）
住所・連絡先	東京都渋谷区上原 2-2-17
	☎ 03-3465-0415
	E-mail mori@kaorukaze.jp

○タイトル（保育計画）

薫る風・上原こども園 自然教室 - 環境共生型庭園へ-

○主な助成備品

パーゴラ、長ものブドウ苗、木製植えマス、客土、水盤立ち上がり、水生植物等

1. 実施した保育計画策定の目的

法人の保育目標、『自然を大切にする子』を自然が少ない東京都内の中心地でも実践すべく、園庭に貼付資料の通り様々な季節の植物を植栽し、園児に自然を通して四季を感じられるように工夫しました。今回の助成事業の実施で、更に園児達が四季折々の植物や果物、野菜の育成体験、また水生生物や昆虫、鳥等の生き物と日常的に出会い、触れ合う機会を創出することを目的としました。

2. 具体的な実施内容

具体的な実施内容につきましては、

①砂場にパーゴラの設置及びぶどうの植栽



②ビオトープの設置



③カンキツ類（ミカン）の植樹



④菜園の設置となります。



3. その成果と評価

①の砂場に設置したパーゴラにつきましては、夏の炎天下でもパーゴラに絡めたぶどうの葉が自然の日陰を作り、その下で園児たちが安心して砂場遊びができるだけでなく、夏に熟したぶどうの実を収穫して食すことを通じ、園児たちに自然の法則に従った食育を体験させることができるようになる予定です。



②のビオトープにつきましては、四季折々の水生植物の移り変わり、花菖蒲や蓮の花、ガマの穂綿等が観察出来たほか、メダカ、小鮒、おたまじゃくし、ザリガニ、ヌマエビ等の水生生物の観察をしています。夏には、皆でザリガニ釣り体験をしました。園児は大喜びでした。





③園庭に新たに植樹したカンキツ類（ミカン）の植樹につきましては、多くの実がなったことから園児達での収穫、そのまま食するという実体験を積むことが出来ました。ミカンの木を訪れるチョウの産卵、春にチョウの羽化が見られることを期待しています。



④の菜園につきましては、普段園児たちが食卓で実際に口にするトマトやキュウリといった身近な作物を育てることを体験出来ます。作物を育てることの苦労や喜びを園児たちで共有し、その体験を通じて食べ物に対する興味や感謝の気持ちを高めることを期待しています。



4. 今後の課題と展望

実施して1年目、まだパーゴラのぶどうの生育が充分ではなく、一つの目的でもあったパーゴラの上を覆う日除けとはなっていないので、引き続き肥料を追加したりして生育を園児達と見守っていくこととなります。

家庭菜園では、夏野菜、秋野菜と季節の旬の野菜を栽培して、園児達も大いに食育体験を果たす一定の成果を挙げました。将来的には、菜園に春夏秋冬、季節ごとに種まきや苗の植え付け、収穫など子ども達が興味や主体性持ち、栽培出来るような体制に持っていけたらと考えています。

また、ビオトープも環境が落ち着いておらず、水生植物が水生生物の食料となっている面や水生生物を鳥が捕食しているのか、一時的にメダカの数が増減したり、また、ビオトープの生態系として、外来種であるアメリカザリガニやウシガエルと疑われるオタマジャクシが生息しており、教育的にも生態系としてもあるべきビオトープを園児と共に研究し、整備していきたいです。

以上